

福祉にいがた

Fukushi Niigata

CONTENTS

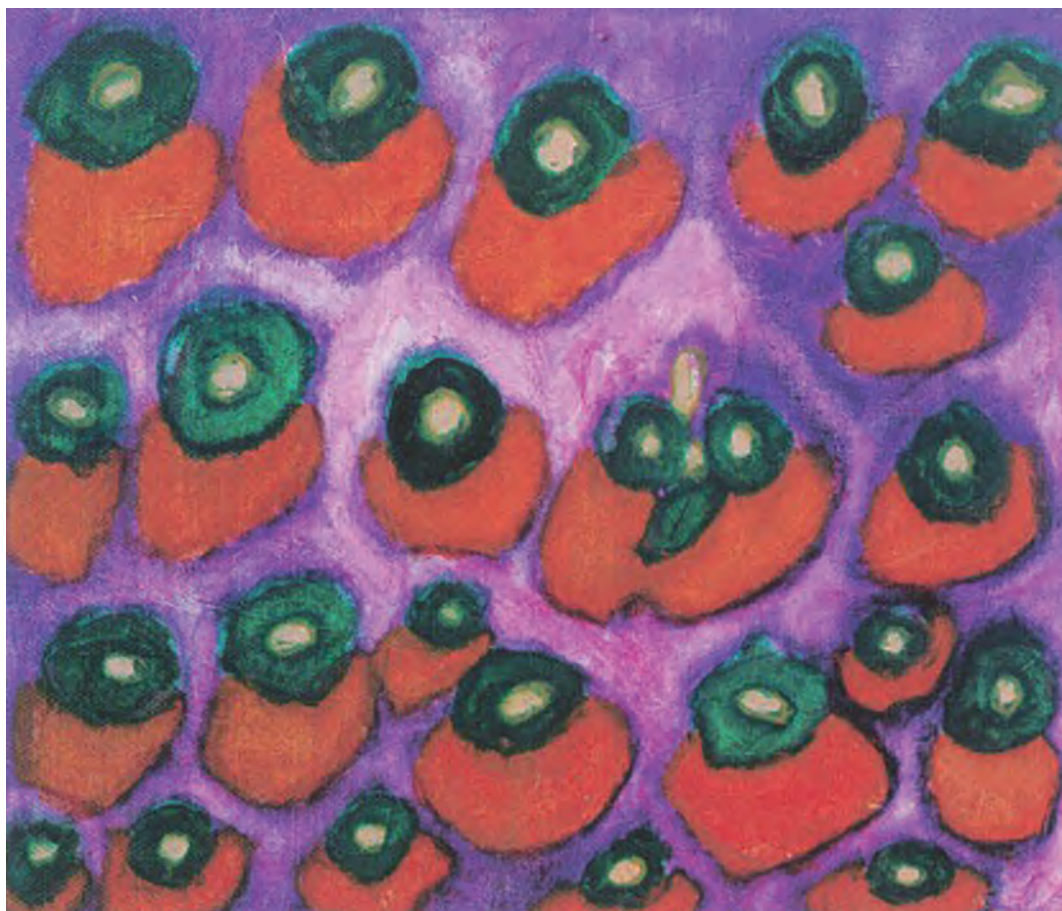
巻頭特集

食材高騰、支援活動ピンチ（2・3面）

- 摂食障害の苦しみ分かち合う「ABCの会」
- 県社協令和6年度事業報告・概要

7 月号
2025
第875号

絵「柿」 作・新井 里沙（加茂市）
作品よもやま―16歳ころ、アクリル絵の具で描いた第1号作品



社会福祉
法人

新潟県社会福祉協議会

<https://www.fukushiniigata.or.jp>

コメをはじめとする食料品の高騰で、県内のフードバンクや子ども食堂などの活動にも影響が出ています。「困っている人たちのために、なんとかして支援を継続していかなければ」と知恵を絞って奮闘する現場を訪ねました。

「本来国がすべきこと」

先見越し苦渋のやりくり

燕市仲町の「フードバンクつばめ」には、寄付された食料品などを24時間受け取る無人倉庫があります。県内の約500世帯が利用していますが、空きスペースが目立ちます。

「2021年に立ち上げ

巻頭特集



「困っている人の一時的な支えに」と、やりくりしながら活動を続けるフードバンクにいがた＝新潟市中央区幸町

た時と比べ米価は4倍、ほかの食材も高騰している。フードロス削減の動きもあって寄付は大幅に減った。困っている人への支援は国の責任でやるべき。ボランティアだけでは無理」と理事長の青柳修次さん(63)は力説します。

洋食器などの製造・販売会社を経営する青柳さんは「県内で自殺する人を減らしたい」と、地元企業の協力を得てフードバンクを立ち上げました。食料提供にとどまらず、子どもの居場所づくり、地域住民が集う喫茶スペースなど、多角的な支援を続けています。厳しい状況下でも、協力企業数は減らないそうです。

なんとしても継続させねば

「取り組みの必要性を理解してくれているからでしょう。次世代のためにも、なんとか継続しなければ」と話していました。

新潟市中央区幸町の「フードバンクにいがた」も、去年の夏ごろから食料の寄付が不足し始め、物品購入に踏み切りました。

「寄付は本当にありがたい。ただ、在庫がゼロになっからでは遅い。先を見越して、なんとかやりくりしています」と副理事長の眞木英明さん(77)。

フードバンクの利用者は月に600人から700人。子ども食堂からのニーズもあるといいます。

眞木さんも「支援は継続が大事で、それは国がすべきこと」と強調。「働きたくても働けない人を一時的に支えるためにボランティアで活動している。みんなが生活できる社会の仕組み作りを考えてもらいたい」と訴えています。

県内のフードバンク

〈下越地域〉		
フードバンクつばめ	燕市小池4852-5 ARS内	0256-63-3055
フードバンク燕・弥彦	燕市新堀1138-1 分水健康福祉プラザ内	090-9680-6795
おたがいさまネットワーク	燕市関崎69 重蓮寺	090-2743-2585
ご縁フードパントリー	燕市五千石3253 勝敬寺	0256-97-3503
フードバンクにいがた	新潟市中央区幸町7-16 KRビル1階	025-282-7374
フードバンクにいがた西	新潟市西区小針西1-14-25	080-4654-4670
フードバンクにし	新潟市西区黒鳥5463	090-4552-0024
フードバンクにいがた南	新潟市南区大通黄金5-17-19	080-2074-0803

フードバンクしばた	新発田市本町3-3-3	0254-20-8666
フードバンクごせん	五泉市五泉1858	070-4442-0890
フードバンクあが	東蒲原郡阿賀町日出谷乙1628-1	080-3935-5566
フードバンクたいないキボウのヒカリ	胎内市本郷544-1	0254-28-0433
フードバンクせいろ	北蒲原郡聖籠町次第浜2999-14	090-4747-3827
フードバンクさんぼく	村上市府屋286	080-4654-4670
フードバンクむらかみ	村上市羽黒町1-3	070-3898-5949
〈佐渡地域〉		
フードバンクさど	佐渡市金井新保乙1636-1	0259-63-2221

ストック米、最盛期の半分

他の子ども食堂や直売所とも連携

子ども食堂

年々広がる子ども食堂。全国では昨年度初めて1万カ所を超えました。県内では180カ所が運営されていることが、県と県社会福祉協議会の調査で明らかになりました。



新潟市東区役所3階にある「地球の子供食堂と宿題Cafe ひがしく店」もその一つ。昨年5月にオープンしました。

地元の民間企業が主催し、NPO法人が運営しています。登録会員数は約1250人。水曜を除く毎日営業し、1日50食限定。遊び場や

学習スペースなども併設した大規模な施設で、貧困や障がいなどを抱える子どもだけではなく、多くの子供たちが居場所を求めて集まります。

「企業さんや地域の方からの食材のご寄付もありですが、毎日営業しているので基本的には

広いスペースにビュッフェ式子ども食堂や遊び場、学習スペースなどを備えた「地球の子供食堂と宿題Cafe ひがしく店」は新潟市東区役所3階

食材高騰、支援活動ピンチ

購入して日々の食事を作っています」と店長の山田芽衣さん（23）。「安い店を探してハシゴしたり、もやしなどで量を増やしたり、やりくりしています」

1日に使うコメは3〜4^キ。多い時には30^キの袋で20個のストックがありましたが、今は半減。「これまでに最も少なくなりました。この状況で寄付はやっぱり大変ですよ」と山田さんは顔を曇らせます。

寄付企業の数もオープン当初より減ったといいます。協力企業を増やすためSNSで発信したり、他の子ども食堂や直売所とも連携したり、さまざまな工夫を続けています。

オープン1年。「子供たちの食費が浮いて助かる」など、お母さんたちからも喜ばれているそうです。

「子供も保護者も生きやすくなるために活動を続けたい。地域と協力しながら頑張ります」と山田さんは力を込めました。

県内のフードバンク

〈全県〉		
新潟県フードバンク推進協議会	三条市北新保1-20-18	0256-34-8960
〈上越地域〉		
フードバンクじょうえつ	上越市高土町1-8-7-2F	025-522-6639
フードバンクいといがわ	糸魚川市大字能生6993-1	025-556-6424
〈中越地域〉		
フードバンクながおか	長岡市新産2-1-5	090-2142-6119
ながおかこども米百俵支援センター	長岡市美園1-3-29	0120-30-1236

フードバンクおぢや	小千谷市船岡1-3-2	090-2244-0918
フードバンクかしわざき	柏崎市東本町2-7-39	080-5843-0039
フードバンクかりわ	刈羽郡刈羽村下高町1376-13	090-8646-8557
フードバンクさんじょう	三条市北新保1-20-18	0256-34-8960
フードバンクかも・たがみ	加茂市上条2-20	090-5814-3908
フードバンクみつけ	見附市本町1-4-46	0258-40-9017
フードバンクゆざわ	南魚沼郡湯沢町大字土樽151-136	090-7174-6489

摂食障害

苦しみ分かち合い23年

当事者と家族の自助グループ「ABCの会」

拒食症や過食症などの「摂食障害」を抱える人は、国内で20万人以上いるといわれています。摂食障害の当事者とその家族らが集まって体験を話し合い、回復につながるきっかけにしようと、県内を拠点に活動が続けているのが「ABCの会」です。代表の浅見裕子さん（76）は新潟市中央区にその取り組みや、悩みを抱える人々へのメッセージを聞きました。

代表・浅見裕子さんに聞く



「ABCの会」の5月月例会の様子＝5月24日・新潟市総合福祉会館

摂食障害は、食べられなくなったり、食べた後に体重増加を恐れて吐き出したりの心の病で、若い女性に多く見られます。悪化すると食べ物のことしか頭になくなり、店で万引きするケースもあるといいます。

「やせているのがいい」とだという風潮の中で低年齢化が進んでいます。頑張り屋のいい子が挫折などをきっかけに摂食障害に陥ることもあります。思春期の女の子だけではありません。産後だったり、仕事がつまづいていなくなったり、原因や背景はさまざま

す。中高年や男性もいます」と浅見さん。

浅見さんの娘さんも高校生の時に摂食障害になり、入退院を繰り返しました。その間、浅見さんは病院での勉強会に参加し、同じ悩みを抱える人々と話したことが、前に進むきっかけになったといいます。

2002（平成14）年、浅



浅見裕子さん

見さんは「ABCの会」を立ち上げました。以来23年間、医師のサポートを受けながら定期的に勉強会を続けています。現在は県内外に30人ほどの会員がいます。

「同じ体験を持つ人々と話すことによって、これからたどるプロセスも見えてくる。それですごくほっ

としました」と浅見さんは振り返ります。

浅見さんの娘さんはその後、アルバイトしたり大学で学んだりしながら徐々に回復。今は家庭を持って元気に暮らしています。

★ABCの会 「ABC」はAnorexia（拒食症）Bulimia（過食症）circle（サークル）の略。毎月第4土曜日の午後、新潟市中央区八千代1の新潟市総合福祉会館で月例会を開いている。会のホームページは<https://sites.google.com/view/abc-niigata-shg/home>。問い合わせは浅見さん、025（283）5647（留守番電話になっているそうです）。メールアドレスはasami-ori7-hime7@mtf.biglobe.ne.jp

二度かかると5年、10年と長期化しがち。苦しみを一人で抱え込まず、つらい時は周囲に助けを求めてほしい。今の時代はインターネットでつながることできる。どんどん利用してほしい。同じ悩みを抱える人たちに浅見さんはそう呼び掛けています。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料（1名あたり） 団体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額		4,000円	
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷		×	○
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	
年間保険料			350円	500円

商品パンフレットは
コチラから(ふくしの保険)
ホームページ

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

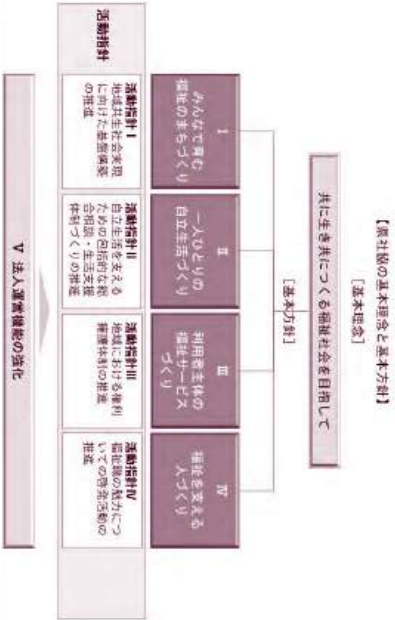
TEL: 03(3581)4667

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

新潟県社会福祉協議会 令和6年度事業実施報告書概要版

1 新潟県社会福祉協議会活動指針の推進

新潟県社会福祉協議会の基本理念実現のため、4つの基本方針ごとに活動指針(計画期間：令和3～7年度)を定め、社会的ニーズのある事業を重点的かつ計画的に推進した。



2 基本方針別の事業概要

次の5本柱を基本方針に掲げ、新たなニーズへの対応や社会福祉協議会活動の啓発・広報強化、福祉団体との連携強化、事業評価を踏まえた新規事業の充実などに重点的に取り組んだ。さらに、活動指針に基づき重点的かつ計画的に取り組む事業の推進を図った。

基本方針Ⅰ みんなで育む福祉のまちづくり

県民の福祉への理解促進と福祉の心の醸成のため、新発田市において「第74回新潟県民福祉大会」を開催したほか、13年目を迎えた「福祉・介護・健康フェア」を新潟市、長岡市、上越市の県内3会場で開催した。

また、地域共生社会実現に向けた住民主体によるたすけあい活動の推進、新たな社会課題を抱える市町村社会福祉協議会に対する支援とおして基盤構築の推進に取り組んだ。

① 県民の福祉への理解促進と福祉の心の醸成

ア 第74回新潟県民福祉大会の開催

- イ 10月29日 新発田市 参加者約800名
- イ 福祉・介護・健康フェア2024の開催
- ・新潟会場 11月9日 来場者3,823名
- ・長岡会場 11月10日 来場者185名
- ・上越会場 11月10日 来場者747名

ウ 機関誌発行事業

- ツ 「福祉にいがた」の発行 9回/各12,000部

- チ 「福祉にいがた オアシス21」の発行 3回/各17,000部

② 地域福祉活動の推進・市町村社会福祉協議会活動支援

- ア 市町村社会福祉協議会会長研修の開催 1回
- イ 市町村社会福祉協議会職員課題別研修の開催



【第74回新潟県民福祉大会】

- ツ 社会福祉協議会新任及び初級職員研修会の開催 1回
- チ 市町村社会福祉協議会事務局長研修会の開催 1回
- チ 課題別研修会の開催 3回

③ 地域共生社会実現に向けた基盤構築の推進

ア 市町村社会福祉協議会が抱える課題の抽出及び検討

- ツ 市町村社会福祉協議会への個別訪問調査の実施 10カ所
- チ 市町村社会福祉協議会への個別支援の実施 4カ所
- チ 市町村社会福祉協議会介護事業セミナーの開催 1回

イ 地域共生社会の実現に向けた関係機関・団体との連携の場づくり

- ツ 地域共生社会の実現に向けた取組推進
- ・市町村社会福祉協議会地域福祉事業に関する情報共有オンライン会議の開催 1回
- ・重層的支援体制整備事業移行準備事業実施市村社協ミーティングの開催 1回
- ・地域福祉推進セミナー(包括的支援体制構築に向けて)の開催 1回

イ 市町村間のプラットフォームづくりの推進

- ・災害時福祉支援活動推進に係る会議、研修等の開催 4回
- ・新潟県福祉教育推進会議の開催 2回

- ・ひきこもり支援をテーマにした社協担当職員によるネットワーク会議の開催 1回
- ・新たな社会課題の解決に向けた具体的取組

- ・ひきこもり支援従事者研修会の開催 1回
- ・ひきこもり者への支援推進フォーラムの開催 1回

・地域の居場所創出支援に係る調査の実施

④ ボランティア活動・社会貢献活動の振興

ア 災害救援活動の推進

- ツ 災害支援コーディネートナー養成研修の開催

- ・初級編 12月3日～4日

- ・中級編 1月16日～17日

- ・上級編現場実践プロセス 2月13日

イ 令和6年度能登半島地震及び令和6年度能登半島豪雨における被災地支援活動のための職員派遣

- ・中能登町災害ボランティアセンター 4月1日/2派遣入日
- ・七尾市災害ボランティアセンター 4月13日～23日/22派遣入日
- ・能登町災害ボランティアセンター 4月25日～7月24日/109派遣入日
- ・珠洲市災害ボランティアセンター 9月10日～12月22日/84派遣入日
- ・県民たすけあい基金運用助成事業の実施
- ・34団体/11,318,000円

ウ 福祉教育の推進

- ツ 地域福祉推進セミナー(福祉教育の視点からの開催 2回



【県知事への政策提言・要望活動】

- ⑤ 関係機関・団体との連携・支援の推進
 - ア 福祉関係団体との連携・協働を基盤とした政策提言、予算要望活動の実施
 - (ア) 福祉団体懇談会の開催 2回
 - (イ) 福祉団体との連携・協働を基盤とした県知事、県福祉保健部長に対する政策提言・要望活動
 - イ 災害福祉広域支援ネットワーク事業の推進
 - ・災害福祉支援チーム基礎(登録)研修の開催 1回

基本方針Ⅱ 一人ひとりの自立生活づくり

高齢者の生きがいや健康づくり、社会活動への参加を支援するため、シニアカレッジ新潟及びにいがたねんりんピックを実施した。福祉の店パレット新潟店運営では、授産製品の販売や各種イベント等を通して、障害者の就労や社会参加の促進、県民に対する福祉への理解促進に努めた。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、生活に困窮した世帯への緊急小口資金等の特別貸付の償還が段階的にスタートしたことに伴い、償還業務等を円滑かつ適切に行うとともに、生活に困窮する世帯等へ必要な貸付けと相談支援を行う生活福祉資金貸付事業の活用や必要に応じて他制度、他施策への繋ぎを行った。

- ① 高齢者の社会参加の促進
 - ア ねんりんピックの開催・選手派遣
 - (ア) 第29回にいがたねんりんピックの開催 13種目
 - (イ) 第36回全国健康福祉祭ととり大会(ねんりんピックはばたけ鳥取2024)への選手派遣・10月19日～22日 鳥取県 96名派遣
 - イ シニアカレッジ新潟の開催
 - (ア) 基礎応用課程講座の開催
 - ・1年次 4クラス/全12日間
 - ・2年次 4クラス/全14日間
- ② 高齢者の生活支援の充実
 - ア 認知症コールセンターの運営
 - ・相談者 393名/相談延べ件数 1,143件
- ③ 障害者の社会参加の促進
 - ア 福祉の店パレット新潟店の運営
 - (ア) 農福連携メルシェ開催(福祉・介護・健康フェア2024 in 新潟同時開催)
 - (イ) 授産事業活性化
 - (ア) 自主製品の開発支援
 - イ 障害者就労支援事業の展開
 - ・募金型自動販売機の制作・設置 30台
 - ・寄附金の受け入れ 1社
 - ・パートナー企業 39社・団体
 - ・障害者就労支援事業所製品を企業のお中元・お歳暮として活用
 - ・障害者福祉施設カレンダーづくりの開催 8施設10種(福祉・介護・健康フェア2024 in 新潟同時開催)
- ④ 生活の安定への支援
 - ア 生活福祉資金等貸付事業

- ・貸付件数 68件/貸付額 16,261,000円
- イ ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業
 - ・貸付件数 6件/貸付額 2,282,000円
- ウ 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業
 - ・貸付件数 26件/貸付額 11,807,640円
- ⑤ 自立生活を支えるための包括的な総合相談・生活支援体制づくりの推進
 - ア 生活福祉資金貸付事業担当職員研修会(兼生活困窮者自立支援担当者研修)の開催 1回

基本方針Ⅲ 利用者主体の福祉サービスづくり

日常生活自立支援事業を実施し、認知症高齢者や知的障害者、精神障害者等のうち判断能力が不十分な方が地域において自立した生活を送れるよう支援を行うとともに、今後利用者の増加が想定される成年後見制度のさらなる普及促進のための事業を実施した。

また、福祉サービスに関する苦情の適切な解決を図るとともに、日常生活自立支援事業の適正な運営を確保するため新潟県福祉サービス運営適正化委員会を運営した。

- ① 日常生活自立支援事業の実施
 - ア 契約締結審査会の設置運営
 - イ 業務監督実地指導の実施 14市町村社協(訪問)
 - ウ 担当部課長会議の開催 1回
 - エ 専門員ミーティングの開催 1回
 - オ 専門員研修会の開催 2回
 - カ 生活支援員研修会の開催 1回
 - キ 人材育成推進ワークショップ・チームの開催 3回
- ② 成年後見制度普及促進事業の実施
 - ア 成年後見制度訪問検討会、体制整備支援等アドバイザー派遣 11町村、延べ34回
 - イ 法人後見訪問検討会の開催 4市町村、延べ6回
 - ウ 成年後見制度担当者研修会の開催 1回
 - エ 成年後見制度市町村長申立推進研修会の開催
 - (ア) 基礎編 1回
 - (イ) 応用編 1回
- オ 中核機関ネットワーク会議の開催 1回
- カ 法人後見研修の開催
 - (ア) 法人後見スタートアップ研修会の開催 1回
 - (イ) 社会福祉法人による法人後見団体ネットワーク会議の開催 1回
- キ 権利擁護人材養成モデル事業の実施
 - (ア) 市民後見人選任等に向けた体制整備支援の実施
 - (イ) 市民後見推進サロンの開催 2回
 - ク 成年後見制度に関する実態把握調査の実施
 - ・調査対象 新潟家庭裁判所、30市町村、30市町村社協等
 - ケ 権利擁護パンフレット作成事業の実施 6,000部作成
 - コ 体制整備支援等相談窓口の設置
- ③ 福祉サービス利用者の苦情解決支援の充実
 - ア 福祉サービス運営適正化委員会の開催



〔権利擁護パンフレット〕

- (ア) 委員会の開催 2回
- (イ) 利用援助事業調査小委員会の開催 4回
- (ウ) 苦情解決小委員会の開催 4回(苦情受付実績18件)
- イ 福祉サービスに関する苦情解決研修会の開催
- (ア) 苦情受付担当者等研修会の開催 1回
- (イ) 苦情解決責任者等研修会の開催 1回

基本方針Ⅳ 福祉を支える人づくり

福祉分野の求職者に対して無料職業紹介事業や福祉の仕事就職フェアを開催し、希望条件に見合う福祉施設等を紹介・斡旋するなど多様な就労支援を行い、福祉・介護人材の確保・定着・育成に取り組んだ。

また、福祉分野への参入促進を図るため、実際に福祉職場で体験する機会や、SNS等を活用した幅広い情報提供に努め、福祉の仕事の魅力ややりがい等発信した。

- ① 福祉従事者の確保・就労の促進と働きやすい職場づくりへの支援
 - ア 福祉人材センター事業の運営
 - (ア) 福祉人材無料紹介所での求人求職相談、斡旋
 - ・相談件数 3,681件／採用 111名
 - (イ) 福祉のしごと就職フェアの開催
 - ・対面による就職フェアを6回開催。
 - ・参加法人 145法人／来場者 326名
 - (ウ) 人材確保のための法人向けセミナーの開催
 - ・オンライン形式で開催。
 - ・参加法人数 56法人／参加者 78名
 - イ 福祉職の魅力についての啓発の推進
 - (ア) 福祉現場で働く職員・事業所へのインタビュー動画の周知
 - (イ) 福祉施設の職場体験事業の実施
 - ア 介護施設の職場体験
 - ・体験者53名／延べ体験日数80日
 - イ 親子向けの介護体験会
 - ・8月17日 ハイア長岡 5組10名
 - ・8月24日 国際こども・福祉カレッジ 16組31名
 - ウ 学生の介護職場アルバイトマッチング
 - ・特設サイトを構築



〔福祉のしごと就職フェア〕



〔介護施設の職場体験集〕

- (エ) SNS等での情報発信
 - ・ホームページやLINE等で情報を発信した。また、特定の事業をより周知するためランディングページを作成しWeb広告の運用を開始した。

- ・福祉人材センターホームページ年間ページビュー 77,614回
- ・LINE友だち登録数 870名
- (オ) 関係団体・法人等との連携事業の実施

各種イベントの周知にあたり、関係機関(県、ハローワーク等)と連携した。

ウ 介護福祉士等修学資金貸付事業の実施

- (ア) 介護福祉士・社会福祉士修学資金 貸付件数 734件／貸付額 231,890,000円
- (イ) 介護福祉士実務研修受講資金 貸付件数 101件／貸付額 16,900,000円

(ウ) 離職介護人材再就職準備金 貸付件数 2件／貸付額 800,000円

エ 保育士修学資金貸付等事業の実施

- (ア) 保育士修学資金 貸付件数 159件／貸付額 63,540,000円
- (イ) 潜在保育士再就職準備金 貸付件数 2件／貸付額 400,000円

オ 社会福祉従事者福利厚生事業

- (ア) 県民間社会福祉職員退職積立基金事業
 - ・加入施設・団体数 654施設・団体
 - ・加入職員数 22,574名

(イ) 社会福祉施設職員退職手当共済事業

(ウ) 社会福祉事業従事者福祉厚生事業(福利厚生センター)

- ② 介護の理解促進と知識・技術の普及・促進、介護分野への参入促進
 - ア 介護実技動画のインターネットを活用した普及・PR

令和2年度に制作した介護実技等の動画6本と講座のダイジェスト版9本を、引き続き新潟県社会福祉協議会のYouTubeチャンネルで無料公開した。

・チャンネル登録者 6,430名(令和7年3月31日現在)

・動画15本の合計閲覧数 78万回(令和7年3月31日現在)

イ 動画を活用した県民介護知識・技術習得講座の開催

上記アの制作動画を実技で活用し、介護知識技術の普及に努めた。

- (ア) 介護技術・基本コース 4回
- (イ) 介護技術・スラップアップコース 1回
- (ウ) 介護体験・入門コース 17回

基本方針Ⅴ 法人運営機能の強化

組織推進体制・経営力の強化に向けて、内部管理体制の基本方針に基づき、コンプライアンスの徹底やガバナンスの徹底に努め、会計監査人の設置による財務規律の強化に取り組んだほか、本会の基本理念を実現するために必要な予算措置等の要望、組織力の強化や職員の育成・資質向上に取り組んだ。

また、新潟ユニゾンラザの管理運営では、施設の保守管理に万全を期し、サービス向上に努めた。

- ① 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会、監事会の開催
- ② 自民党への県施策・予算に関する要望活動
- ③ 総合企画部会の開催 1回
- ④ 会計監査人の設置
- ⑤ 内部管理体制の整備
- ⑥ 組織力向上研修、社協職員研修、実践研修等の開催
- ⑦ 会費収入、広告収入等自主財源の安定的確保 会員数1,297／広告掲載件数12企業・団体
- ⑧ 新潟ユニゾンラザの管理運営
- ⑨ 新潟県社会福祉協議会事業継続計画(BCP)の評価・改善の取組

大人も子供も大勢が楽しんだおもちゃの広場



笑顔がいっぱい

ナイスハートバザールにいがた
2025 in ながおか



6月1日、長岡市の道の駅ながおか花火館で「ナイスハートバザールにいがた2025 in ながおか」が開かれました。盛りだくさんのイベントに多くの家族連れの人たちが楽しんでいました。

目玉の一つ目は販売会。県内福祉関係施設の商品を集めた「県内あれこれショップ」や各事業所による直接販売ブースが10カ所出店しました。雑貨販売、パンや団子、お菓子などの食品販売、キッチンカーなどが並びました。

二つ目はワークショップ。アイロンビーズやクルミボタンづくりなど、子どもたちも楽しんでいました。

三つ目はおもちゃの広場とDREAM PYS保育ショーの子ども向けコンテンツ。延べ200人以上が参加しました。保育ショーではマジックやシャボン玉に子どもたちも大興奮。

11月16日（日）には新潟市中央区の古町フル広場で「ナイスハートバザールにいがた」を開く予定です。出店から来場まで多くの方々参加をお待ちしています。



手作り作業を楽しんだワークショップ写真
④⑤と、県内施設が出店した販売ブース写真
⑥⑦



赤い羽根 情報

三条市社会福祉協議会並びに糸魚川市社会福祉協議会が共同募金から助成を受け実施した事業について、ありがとうございました。ご紹介します。

ボランティア・福祉の出前講座

三条市社会福祉協議会は、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指し、様々な活動を行っている団体です。

福祉やボランティア活動への理解と関心の向上を目的に、小中学校等に出向いて、福祉ボランティア出前講座（福祉・ボランティアに関する講

話や体験）を実施しました。

受講した児童・生徒からは「高齢者や障がいのある人の気持ちを考えることができた」「困っている人のために、自分たちには何ができるかを考えて行動したい」という感想をいただき、本事業が、児童・生徒の福祉への理解や学びを深めるきっかけになっていると感じています。

す。

御支援をいただいた、地域、企業、学校、各団体の皆様に心から感謝と御礼を申し上げます。

三条市社会福祉協議会は、これからもさらなる地域福祉の推進に努めてまいります。ありがとうございました。



児童や生徒が福祉への理解を深めた「福祉ボランティア出前講座」Ⅱ令和6年6月25日・三条市立大面小学校

三条市社協から▲

ありがとう
メッセージ

▼糸魚川市社協から

お母さんを応援 「子育てカフェ」

糸魚川市社会福祉協議会は、福祉に関心を持っていただくための環境づくりを進め、行政や福祉関係団体等と連携し「共に支え合い、安全で安心した生活を送ることが出来る地域社会の実現」に向けてさまざまな福祉活動に取り組んでいます。

このたび、共同募金から助成を受け子育て中のお母さんを応援する「子育てカフェ」を実施しました。

育児は、食事・入浴（沐浴）・おむつ交換など介護と同じ。第一の介護は育児、第二の介護は高齢者として捉え、育児中のお母さんに心身のリフレッシュを図ってもらうために事業を始めました。

保育ルームでお子さんをお預かりし、お母さん同士は会話を楽しみながら、ネイル・アクセサリー作り・ヨガなど楽しめるメニューとお茶会で

お母さんたちに好評だった「子育てカフェ」Ⅱ令和6年3月21日・糸魚川市「ビーチホール」がたま



交流し、気分転換を図ってもらいます。

参加したお母さんからは、「子どものことを忘れて自分の時間を楽しむことができた」と好評いただいています。短い時間ではありますが、育児の手を休め、楽しいひとときを満喫していただく貴重な機会となりました。

皆様からお寄せいただいた赤い羽根共同募金のおかげで、この事業が開催できました。ことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

「理想の職場」見つかった？



新潟市で開かれた「福祉のしごと就職フェア」。参加者たちが出展法人のブースを回り、熱心に説明を聞いた。5月18日・新潟市中央区の朱鷺メッセ

福祉・介護の仕事への就職を希望する学生や一般の人たちを支援しようと、「福祉のしごと就職フェア」が5月18日、新潟市中央区の朱鷺メッセで開かれた。就職説明会では、参加者たちが出展法人のブースを回り、担当者の説明に熱心に聞き

入っていました。

「福祉のしごと就職フェア」は県と、県社会福祉協議会内にある県福祉人材センターの主催で、約70人が参加しました。福祉の現場で働く人たちが体験ややりがいなどを語るセミナーに続いて、就職説明会が開かれました。説明会では、県内で福祉施設や医療施設、こども園などを運営する55の法人がブースを設け、参加者たちが自由に回って話を聞きました。

二人で参加していた大学4年の女子学生は「福祉の実習で施設利用者から感謝の言葉をいただいて、直接サポートできる仕事に興味を持った。さらにいろいろ話を聞いて進路を考えたい」と目を輝かせていました。

「福祉のしごと就職フェア」は6月8日に長岡市、21日には上越市でも開かれました。今後は9月27日と来年2月7日、3月14日に新潟市中央区の新潟ユニゾンプラザで開かれる予定です。

ずくむ 2025 Vol.82

内館牧子の「終わった人」という小説を以前読んだ。主人公は、定年退職して時間を持て余す元エリート銀行マン。現役時代のプライドが捨てられず、「終わった」自分を認めたくない。焦ってあれこれ手を出しては空回り。そして、とんでもない結末が…。

終わりの始まり

私も民間企業を定年退職し再雇用も終えた。その後、縁あって新たな仕事をいただき今に至る。小説の主人公と境遇は異なるものの、「終わる」とことへの困惑や焦りは他人事とは思えず、身につまされる物語だった。

最近、高齢者の仲間入りを実感する場面が増えてきた。

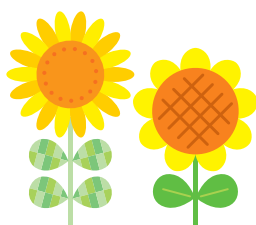
替わり目をどう迎える

タレントやアスリートの名前が出てこない。平らな道で靴底が時々地面に引っかかり、つまずきそうになる。階段を上るとひざが痛い。そして疲れやすくなった。

内面では喜怒哀楽の感情が全体に薄くなってきた。連絡を取り合っている同年齢の友人も「全く同じ」という。「怒」や「哀」が薄まるのは心の平静につながり、歓迎すべき面もある。でも、なんだかうら寂しい。

人生ステージは加齢とともにいやや応なく幕が進む。まだ「終わった」とは思わないが、その時が一步步近づいているのかな、とは感じている。

ステージの替わり目は、これから何回あるだろう。それとどう向き合い、自分を切り替えるか。答えは歩きながら探り続けたい。



(鈍牛)

共生社会へ「福祉・介護・健康フェア2025」

9月上越、11月新潟で開催

「人と人、世代をつなぐ地域共生社会の実現のために」をテーマに、「福祉・介護・健康フェア2025」が9月20日に上越市、11月8日に新潟市でそれぞれ開かれます。

新潟日報社、県社会福祉協議会、開催地の市社会福祉協議会が主催して毎年開



昨年の「こども職業体験コーナー」。歯科衛生士の仕事について学んだ。令和6年11月9日・新潟市産業振興センター

いているもので、著名人によるセミナーや農福連携イベントなど盛りだくさんの内容が予定されています。

【上越会場】9月20日(土)午前9時30分～午後4時、高田城址公園オーレンプラザ。ゲストは検討中。講演、セミナー、農福ふれあい広場など。

【新潟会場】11月

8日(土)午前10時～午後4時、新潟市産業振興センター(中央区)。ゲストは歌手兼料理愛好家の平野レミさんとドキュメンタリー映画「ぼけますから、よろしくお願いします。」を監督した信友直子さん。このほか介護技術コンテストやこども職業体験コーナーなども予定されています。



パレット新潟店営業日

2025年		7月					
日	月	火	水	木	金	土	
		1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	
27	28	29	30	31			

営業時間 11:30～16:30 □…は休業日

2025年		8月					
日	月	火	水	木	金	土	
					1	2	
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	
31							

福祉の店
パレット情報

編集後記

「福祉のしごと就職フェア」取材した日、会場の朱鷺メッセ(新潟市中央区)周辺は、着飾った若い女性たちであふれ返っていました。筆者が向かうイベントとは雰囲気明らかに違います。華やかで熱気ムンムンの人波をかき分けて会場に着くと、ロビーには男性アイドルグループの巨大なポスター。人波は、そのコンサートに集ったファンたちでした。

「会場はここでもいいの？」と不安を覚えながらしばらくうろつき、「福祉のしごと就職フェア」の小さな桃太郎旗をやっと見つけました。コンサートの影響もあってか、「就職フェア」参加者は前年より少なめでした。でも、リクルートスーツ姿の学生たちは真剣な表情で担当者の説明に耳を傾けていました。

その中には、コンサートに行きたかったのを断念して、こちらに来てくれた人もいたかもしれません。だとしたら、ありがたいことです。

筆者の母がお世話になっている施設でも、若いスタッフが活躍しています。みんな元気で優しく、母もパワーをもらっているようです。

福祉の道を目指す若者たちが希望をかなえ、現場でバリバリ活躍してほしい。その活躍が十分に報われてほしい。対照的な風景は、これまで、改めてそう願っています。(橋)

「福祉にいがた」へ ご意見感想、情報をお寄せください

◆TEL 025(281)5613
◆FAX 025(281)5528
◆Eメール kikaku@fukushiniigata.or.jp

◆新潟県社会福祉協議会企画広報課
〒950-8575 新潟市中央区上所2-2-2
新潟ユニゾンプラザ3階

お待ちしております

この機関誌は、
赤い羽根共同募金の
助成を受け発行しています。



発行所/社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会
新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ
☎ 025-281-5584
発行人/伊野 智彦
定価/5円(会員の購読料は会費に含む)

福祉にいがた
令和7年7月1日発行(毎月1日発行)
印刷/島津印刷株式会社